

第65期 中間の事業報告

平成24年11月1日 ▶ 平成25年4月30日

証券コード 4996

KUMIAI CHEMICAL INDUSTRY REPORT  **クミアイ化学工業株式会社**

「いのちと自然を守り育てること」

わたしたちの変わらぬテーマです。

CONTENTS **1** 株主の皆様へ **3** 特集 **4** トピックス **5** 連結財務諸表 **6** 会社情報／株式情報

株主の皆様には、平素は格別のご支援、ご愛顧を賜わり誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

当グループの第65期中間期（第2四半期 平成24年11月1日から平成25年4月30日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに事業活動の概況をご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **石原英助**

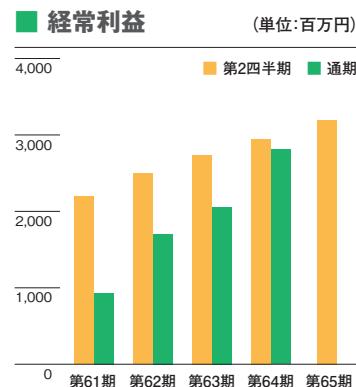
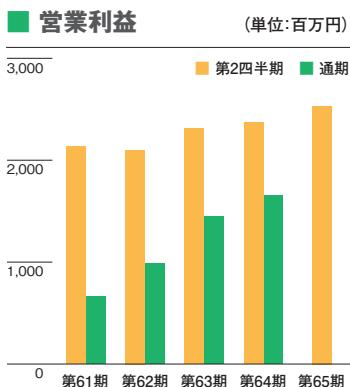
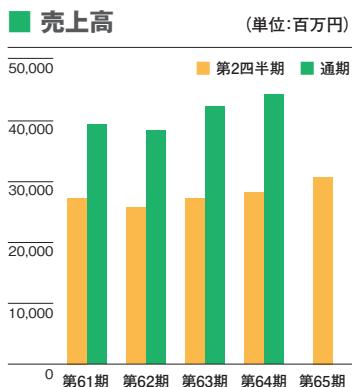


経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による積極的な経済政策運営への期待感や日本銀行が量的・質的金融緩和策を導入したことなどから、企業や家計の景況感が改善されるなど、全般的に持ち直しの傾向を強めつつあります。

農業に関しましては、政府の産業競争力会議において大規模農家への農地集約や耕作放棄地の解消等、農業を成長分野に位置づけるための強化策が議論され、「攻めの農業政策の推進」について総理指示が出されるなど、TPPの交渉参加表明を契機に、農業に関する議論が高まりつつあります。

このような情勢のもと、当グループは、ブランド力や企業



戦略の構築を図ることで増収・増益

価値の向上を図るため、売上、利益の最大化を最重点として、国内・海外ともマーケティング戦略の構築を図るとともにその実践に努め、近年登録を取得した自社開発剤を中心に、市場における定着及びシェア拡大を図ってまいりました。

当グループの第2四半期連結累計期間における売上高は305億2百万円、前年同期比24億5千2百万円（8.7%）の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことなどにより、営業利益は25億2千9百万円、前年同期比1億6千2百万円（6.9%）の増、経常利益は31億9千7百万円、前年同期比2億4千9百万円（8.4%）の増、四半期純利益は22億1千7百万円、前年同期比1億7百万円（5.1%）の増となりました。

セグメントの概況について

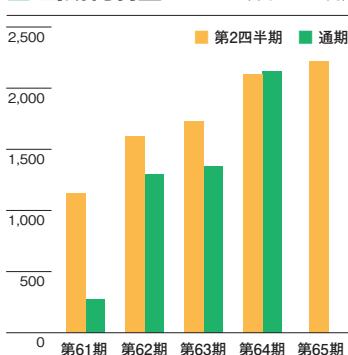
化学品セグメントの売上高は284億6千8百万円、前年同期比25億4百万円（9.6%）の増、営業利益は25億3千6百万円、前年同期比2億7百万円（8.9%）の増となりました。国内販売部門の農耕地分野では、水稲用除草剤については「ピリミスルファン剤」、「トップガン剤」、「ウルフ剤」を中心にシェアアップに努め前年同期の実績を上回りました。水稲用箱処

理剤については、「イソチアニル剤」が継続して伸張しました。園芸用では、新規殺菌剤「ファンタジスタ」、「ファンベル」が好調に推移しました。非農耕地分野では、ゴルフ場向け薬剤の販売や受託加工が前年同期を上回りました。海外販売部門におきましては、棉用除草剤「ステイブル」は作付面積減少の影響で前年同期を下回ったものの、直播水稲用除草剤「ノミニー」は前年同期並みの実績を確保し、「ピロキサスロン剤」が登録取得国の増加や適用作物の拡大により販売を伸ばしたことなどから、前年同期を上回りました。

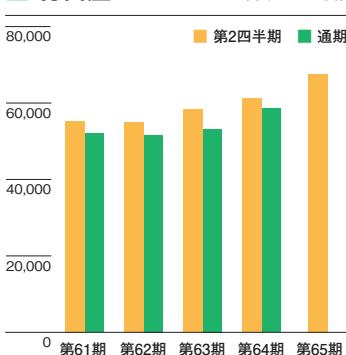
賃貸セグメントは、前連結会計年度末に静岡県磐田市の賃貸物件が解約になったことが影響し、売上高は1億1千1百万円（セグメント間の内部売上を含めた売上高は2億5百万円）、前年同期比3千8百万円（25.3%）の減、営業利益は1億3千万円、前年同期比1千2百万円（8.7%）の減となりました。

流通事業、印刷事業、情報サービス事業及び環境中の化学物質等計量事業などで構成されるその他は、各分野での積極的な営業活動・顧客獲得活動に取組みましたが、印刷事業や情報サービス事業での売上減少が影響し、売上高は19億2千3百万円、前年同期比1千5百万円（0.8%）の減となり、営業利益は1億5千3百万円、前年同期比5千2百万円（25.5%）の減となりました。

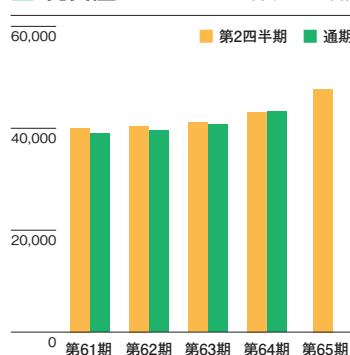
■ 当期純利益 (単位:百万円)



■ 総資産 (単位:百万円)



■ 純資産 (単位:百万円)



海外研究・開発のスピード化

当社では、グローバル市場での研究、開発のスピード化を図るために、本事業年度に新たに当社100%出資の海外現地法人を2社設立し、業務を開始しました。これら現地法人の有効活用により、日本はもとより世界の食糧生産に貢献し得る製品の開発、供給に努めてまいります。

KUMIKA INTERNATIONAL INC.

所在地 11 Martine Avenue Suite 1460, White Plains, New York, 10606 U.S.A.

代表者名 社長 安部俊博（当社：取締役）

業務内容 研究・開発サービス（海外開発および海外登録機能）

資本金 120万USDドル

業務開始時期 平成24年11月

KUMIKA KOREA CO.,LTD. (구미카코리아주식회사)

所在地 ソウル特別市 鐘路区 新門路1街163番地 光化門OFFICIA 2128号
서울(특별)시 종로구 신문로1가 163번지 광화문오피시아 2128호

代表者名 社長 小池好智（当社：常務取締役）

業務内容 研究・開発サービス（韓国における開発および登録機能）

資本金 1億ウォン

業務開始時期 平成25年2月

TOPICS 01 「国内販売 新製品が続々登場」

当社では、今期も引き続き新製品を続々と市場に投入しております。水稲用除草剤では、「ピリミスルファン」単剤のアトトリ1キロ粒剤を平成25年2月20日に、混合剤のナギナタ1キロ粒剤を3月4日に相次いで上市いたしました。園芸用殺菌剤では、「ベンチアバリカルブイソプロピル」を含むカンパネラ水和剤を3月15日に上市しました。

当社の主力製品であります水稲用除草剤を始め、新たな製品ラインアップの充実に向けて、引き続き取り組んでまいります。



ナギナタ



アトトリ



カンパネラ

TOPICS 02 「ピロキサスルホン」米国で大豆の登録取得

畑作用除草剤「ピロキサスルホン」が、平成25年2月27日に米国で大豆登録を取得いたしました。米国では既にトウモロコシでの登録を取得し、販売も好調ですが、大豆の登録取得で更なる売上増加が見込まれます。

ピロキサスルホンは、豪州・カナダ・南アフリカでも農薬登録を取得しており、引き続き南米諸国、欧州諸国、アジア諸国などでも開発を進め、世界市場において当社の成長戦略の柱となる基幹製品として育ててまいります。



米国 ピロキサスルホンを使用した大豆圃場の様子

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成25年4月30日現在	前期末(ご参考) 平成24年10月31日現在
資産の部		
流動資産	35,377	30,343
固定資産	32,092	28,234
有形固定資産	11,591	11,532
無形固定資産	272	291
投資その他の資産	20,229	16,410
資産合計	67,469	58,576
負債の部		
流動負債	13,144	11,677
固定負債	6,605	3,584
負債合計	19,750	15,261
純資産の部		
株主資本	41,294	39,560
その他の包括利益累計額	3,618	1,265
少数株主持分	2,807	2,491
純資産合計	47,720	43,315
負債及び純資産合計	67,469	58,576

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成24年11月1日から 平成25年4月30日まで	前年同期(ご参考) 平成23年11月1日から 平成24年4月30日まで
売上高	30,502	28,050
営業利益	2,529	2,366
経常利益	3,197	2,948
税金等調整前四半期純利益	3,531	3,307
四半期純利益	2,217	2,110

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

当第2四半期(累計)	平成24年11月1日から平成25年4月30日まで		
現金及び 現金同等物の 期首残高	6,749	営業活動による キャッシュ・フロー △ 5,364	現金及び 現金同等物に 係る換算差額 307
		投資活動による キャッシュ・フロー △ 13	財務活動による キャッシュ・フロー 2,400
			現金及び 現金同等物の 四半期末残高 4,079

■ 資産・負債・純資産について

● 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は674億6千9百万円で、前連結会計年度末に比べ88億9千3百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金ならびに投資有価証券が増加したことによるものです。

● 負債の部

負債は197億5千万円で、前連結会計年度末に比べ44億8千9百万円の増となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金が増加したことによるものです。

● 純資産の部

純資産は477億2千万円、自己資本比率は66.6%、1株当たり純資産は565円52銭となりました。

■ キャッシュ・フローについて

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、53億6千4百万円の減少(前年同期は29億1千7百万円の減少)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益35億3千1百万円及びたな卸資産の減少24億4千万円等の資金の増加に対し、売上債権の増加103億3千8百万円等の資金の減少によるものです。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1千3百万円の減少(前年同期は1千1百万円の減少)となりました。これは、投資有価証券の売却による収入7億3千1百万円等の資金の増加に対し、有形固定資産の取得による支出5億6千8百万円等の資金の減少によるものです。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、24億円の増加(前年同期は8億8千9百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の増加10億円及び長期借入れによる収入20億円の資金の増加に対し、配当金の支払額4億7千6百万円等の資金の減少によるものです。

■ 会社概要

会社名	クマイイ化学工業株式会社
設立年月日	昭和24年6月20日
資本金	4,534百万円
事業内容	殺虫剤・殺菌剤・除草剤などの農薬の製造・販売
従業員数	376名
本社所在地	〒110-8782 東京都台東区池之端一丁目4番26号

■ 取締役及び監査役

代表取締役 取締役社長	石原英助	取締役	安部俊博
代表取締役 専務取締役	堀貞直	取締役	上園孝雄
代表取締役 専務取締役	大竹丈夫	取締役	引屋敷透
常務取締役	永山孝三	取締役	安田忠孝
常務取締役	小池好智	取締役	加藤敦啓
取締役	尾嶋正弘	常勤監査役	藤原功
取締役	藤本文仁	監査役	中澤靖彦
		監査役	前田哲弘
		監査役	高橋軍治

(注) 常勤監査役藤原 功氏、監査役中澤靖彦氏及び監査役前田哲弘氏は「会社法」第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 連結子会社の概要

尾道クミカ工業株式会社 ※ 農薬等の製造販売業	広島県尾道市 資本金100百万円 出資比率:100.0%
日本印刷工業株式会社 ※ 各種印刷物等の製造販売業	静岡県静岡市駿河区 資本金88百万円 出資比率: 48.5%
株式会社クミカ物流 ※ 運送・倉庫業	静岡県静岡市清水区 資本金62百万円 出資比率: 52.9%
ケイアイ情報システム株式会社 ※ 情報サービス業	東京都台東区 資本金50百万円 出資比率: 50.0%
株式会社エコプロ・リサーチ ※ 環境中の化学物質等計量業	静岡県静岡市清水区 資本金45百万円 出資比率: 66.7%
ケイ・アイケミカルU.S.A. ※ 農薬等の輸出入	米国ニューヨーク州 資本金2百万USDドル 出資比率: 50.0%
ケイ・アイケミカルヨーロッパ ※ 農薬等の輸出入	ベルギー王国ブラッセル市 資本金70万ユーロ 出資比率: 50.0%
ケイ・アイケミカルブラジル(有) ※ 受託業務	ブラジル連邦共和国サンパウロ市 資本金2百万レアル 出資比率: 50.0%

■ 株式の状況

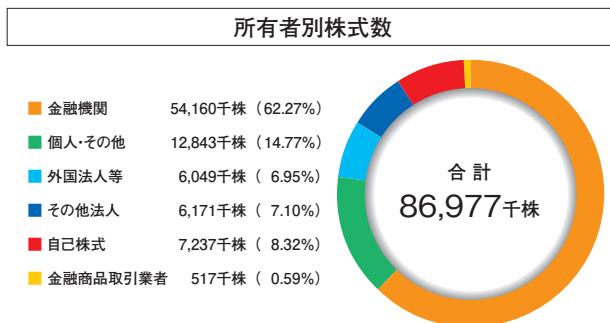
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	86,977,709株
株主数	5,965名

■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
全国農業協同組合連合会	26,527	30.49
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	8,194	9.42
静岡県経済農業協同組合連合会	2,770	3.18
スルガ銀行株式会社	2,609	3.00
農林中央金庫	2,588	2.97
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,536	1.76
イハラケミカル工業株式会社	1,508	1.73
住友生命保険相互会社(特別勘定)	1,182	1.35
イハラ建成工業株式会社	1,076	1.23
CGML-IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT (CITI BANK G.)	1,070	1.23

(注) 当社は自己株式7,235,916株(持株比率8.32%)を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

■ 株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度 11月1日から翌年10月31日まで
 定時株主総会 毎年1月中
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒137-8081
 (郵送先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部

基準日 定時株主総会については10月31日、その他必要
 があるときは、あらかじめ公告する一定の日

公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<http://www.kumiai-chem.co.jp/>
 (但し、電子公告によることができない事故、そ
 の他やむを得ない事由が生じたときには、日本
 経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお手続き等について

当社株式のお手続き窓口とお問合せ先は次のとおりです。

お手続き窓口及びお問合せ先

<ul style="list-style-type: none"> ○ お取引の証券会社等に開設されている振替口座に預託されている当社株式に関する単元未満株式買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き ○ 上記の各お手続きに関するご照会 	<p>お取引口座を開設されている証券会社等にて お手続き又はお問合せをお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ まだ受取っておられない配当金の受領に関するお手続き及びそのご照会 ○ 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き ○ 株主名簿にご登録の配当金受取方法に関するご照会 ○ 株主様宛郵便物等の発送と返戻に関するご照会 ○ 特別口座に関する各お手続き及びそのご照会 	<p>【お手続き窓口】 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店の窓口</p> <p>【お問合せ先】 三菱UFJ信託銀行株式会社 各種お問合せ 0120-232-711 各種手続用紙のご請求 0120-244-479 インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/</p>

IR情報を当社ホームページで
 ご覧になれます。

ホームページアドレスは次のとおりです。
<http://www.kumiai-chem.co.jp/>



クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都台東区池之端一丁目4番26号

※この中間の事業報告書に関するお問合せは下記までお願いいたします。

総務部 03(3822)5036

URL <http://www.kumiai-chem.co.jp/>



環境に配慮した
 「植物油インキ」を
 使用しています。